

(8) 県際間取引

移輸出額は3兆2,962億円、移輸入額は3兆365億円で、2,597億円の移輸出超過となっている。

平成12年の移輸出額は3兆2,962億円(平成7年比4.1%増)、移輸入額は3兆365億円(平成7年比7.7%増)で、2,597億円の移輸出超過となっている。

また、県内生産の37.8%が移輸出され、県内需要の35.9%が移輸入されている。平成7年に比べると、移輸出率が1.7ポイント(36.1%→37.8%)、移輸入率が2.4ポイント(33.5%→35.9%)上昇している。

産業別にみると移輸出率は、製造業(79.1%)、農林水産業(43.6%)の順に高く、移輸入率は、鉱業(85.4%)、製造業(72.7%)、農林水産業(55.9%)が高くなっており、移輸出総額のうち81.8%、移輸入総額のうち62.2%は製造業によるものである。

なお、移輸出率、移輸入率から産業特性を描いてみると(図2)、おおまかには製造業が相互流通型、鉱業と農林水産業が移輸入依存型、その他第3次産業は県内自給型と区分される。

移輸出率 = (移輸出額) / (県内生産額)

移輸入率 = (移輸入額) / (県内需要額)

図1 移輸出率・移輸入率

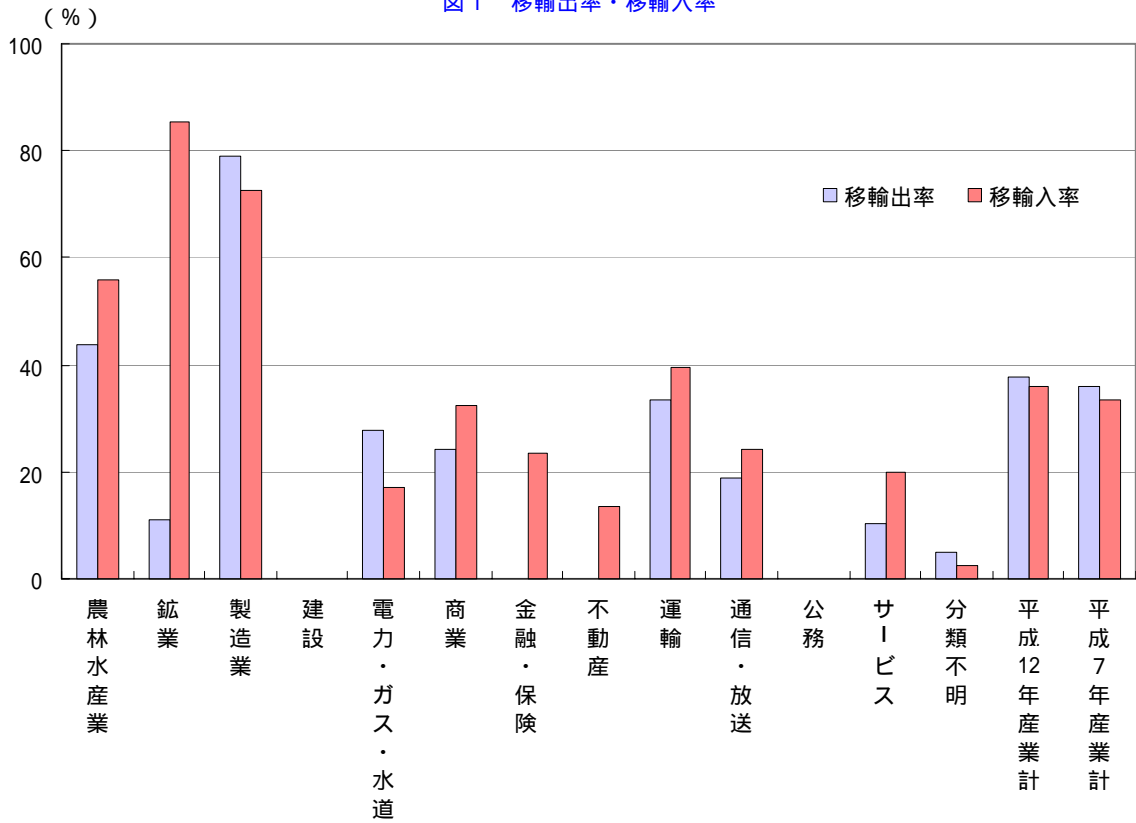


図2 県際取引からみた産業特性

